



学生起業家の祭典・キャンパスベンチャーグランプリ東京大賞決まる



学生起業家の祭典「第16回キャンパスベンチャーグランプリ東京」（cvg東京、りそな銀行・日刊工業新聞社共催）の最終審査発表会が11月28日、東京都内であった。cvg東京は関東甲信越・静岡地域の大学院・大学・高等専門学校の学生がビジネスプランを競う地方大会で、全国展開している同グランプリでも激戦区の一つ。

最終プレゼンテーション審査の結果、大賞に藤沢昌司さん（慶應義塾大学）の「認知症予防・治療デバイスフレグランス君」が選ばれた。関東経済産業局長賞には古井康介さん（同）の「政策を使いこなすアプリケーション」が受賞した。2人は2020年2月17日に開くcvg全国大会に出場し、他地区大会で上位に入った学生起業家たちと日本一を競う。

今回から創設された「ストライク賞」は、川端修平さん（東京大学）の「スーパークールメディアの創出一育成事業」が受賞した。

審査委員長の各務茂夫東大教授は講評で「毎年接戦ではあるが、今年は大接戦だった。どのビジネスプランも着眼点が素晴らしい。今後はユーザー側だけでなく、提供する企業側の視点なども取り入れて起業化を目指してほしい」と激励した。

他の受賞者は次の通り。

【優秀賞】△自走型ロープウェイで交通を変える！（慶大・須知高匡氏）△時間帯別火葬コンサルティング（立教大学・岩間文佳さん）

【りそな銀行賞】△旅の「寄り道」を提案するアプリ『頬道—Y o r i m i c h i —』（立教大・平沢未央さん）

【日刊工業新聞社賞】△W o r l d L i f e M a p p i n g （筑波大学・下田彬さん）

【奨励賞】△賞味・消費期限管理システム「ロスマラス」（横浜市立大学・谷村早紀さん）△農機シェアリング支援プラットフォーム（文京学院大学・宮野豊さん）△高齢者による知のシェアリングエコノミー（東京医科歯科大学・鈴木郁哉さん）

文：M&A Online編集部